

豊橋田原ごみ処理施設整備計画

概要版

(案)



ともに支え ともに続ける 資源循環のまち 豊橋田原

計画策定の目的

本計画は、豊橋田原ごみ処理施設の方向性を明らかにするとともに、周辺環境に与える影響を計画段階で評価する環境アセスメントの予測条件及び建設工事を発注するための要求水準の基本条件とします。

基本方針

1 市民の生活を守る安全・安心で安定した稼働ができる施設

- 事故やトラブル等がない安全性に優れた信頼性の高い施設とします。
- 建物等の強靱化を図り、災害時に安定してごみ処理ができる施設とします。
- ごみ量の長期的変動や多様なごみ質に対応できる施設とします。

2 環境負荷を低減する環境にやさしい施設

- 最新・最善の環境保全技術を用いた施設とします。
- 温室効果ガスや有害物質の発生を抑えられる施設とします。
- 最終処分場の負荷低減が図られる施設とします。

3 エネルギーと資源の有効活用を推進する施設

- 持続可能な資源循環型社会の構築に向けて、3Rを推進する施設とします。
- 焼却処理で発生する熱エネルギーを積極的に有効利用します。
- エネルギー供給の安定性や資源物の回収性に優れた施設とします。

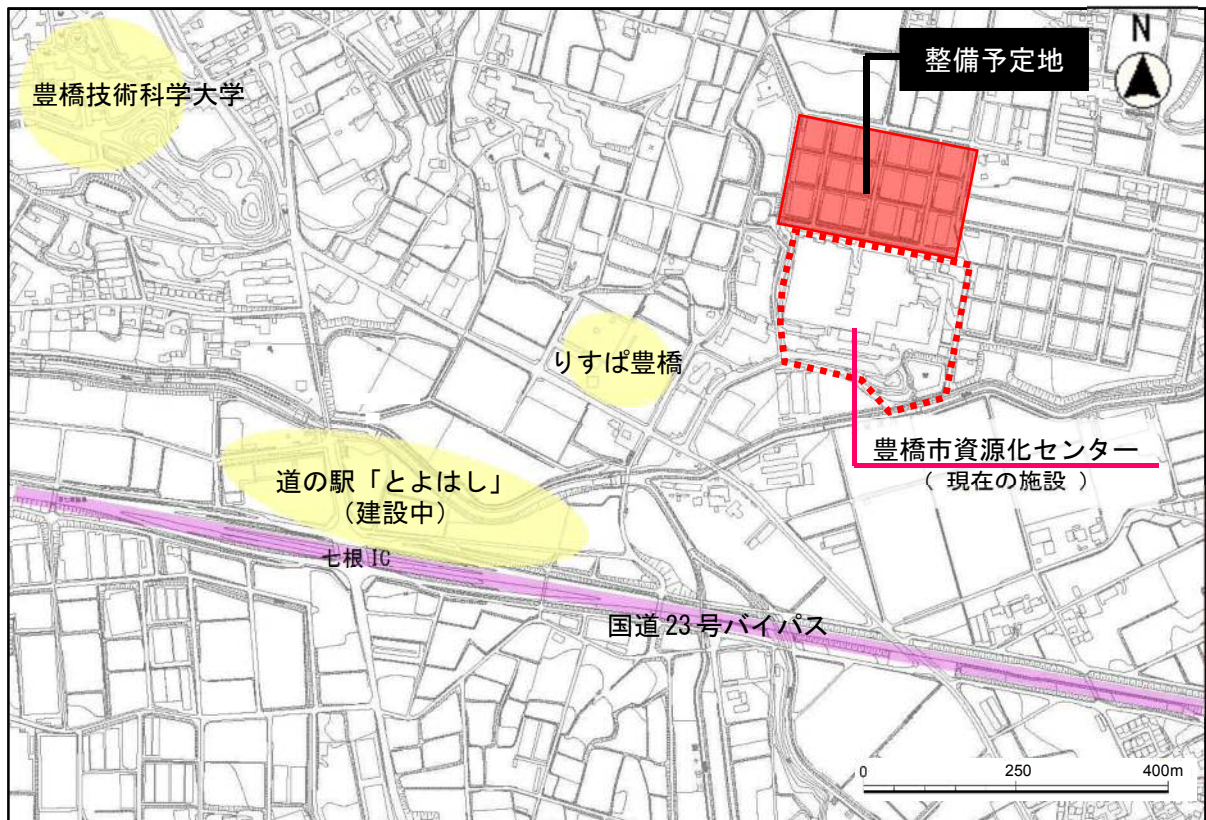
4 地域に開かれ、親しまれる施設

- わかりやすい環境学習の場として、地域に開かれた施設とします。
- 建物のデザインを含め、周辺環境や景観との調和に配慮した施設とします。

5 経済性に優れた施設

- イニシャルコスト・ランニングコストを低減する施設とします。
- 施設の長寿命化に対応できる施設とします。

整備予定地

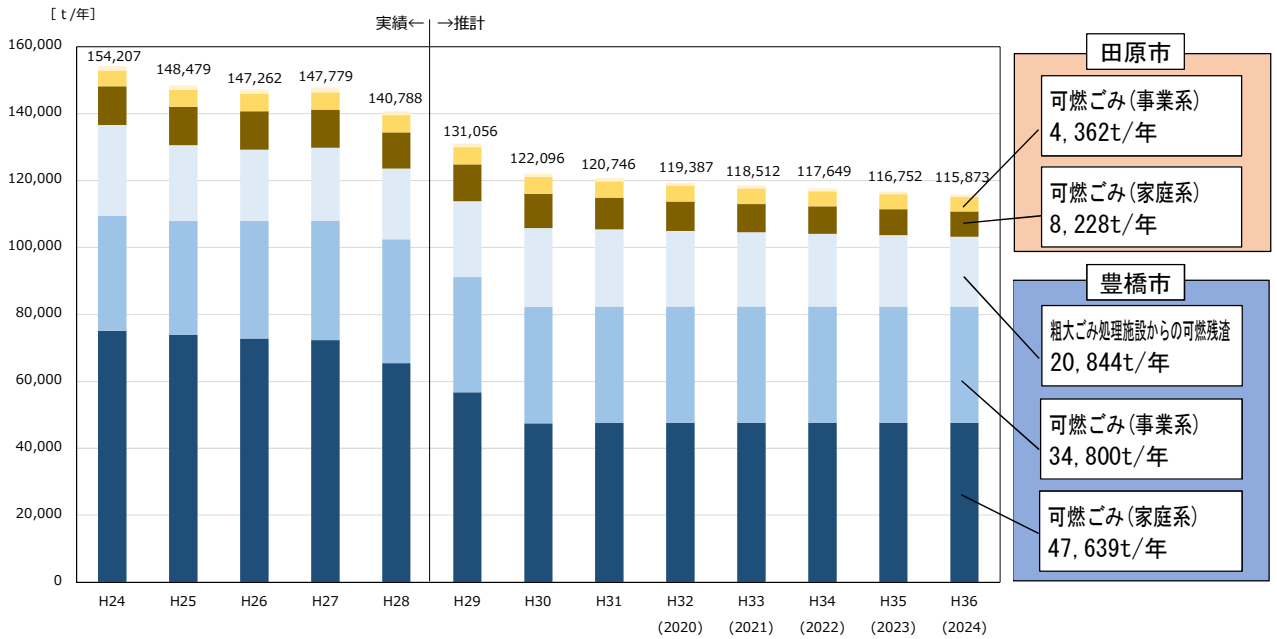


整備予定地に係る事項

項目	内容
位置	豊橋市豊栄町地内
敷地面積	約 3.2ha
都市計画 関連事項	都市計画区域 : 区域内 (市街化調整区域) 都市計画決定 : 廃棄物総合処理施設として都市計画決定の予定 防火地域 : 指定なし 高度地区 : 指定なし 建ぺい率 : 60% 容積率 : 200% 緑地面積率 : 25%以上

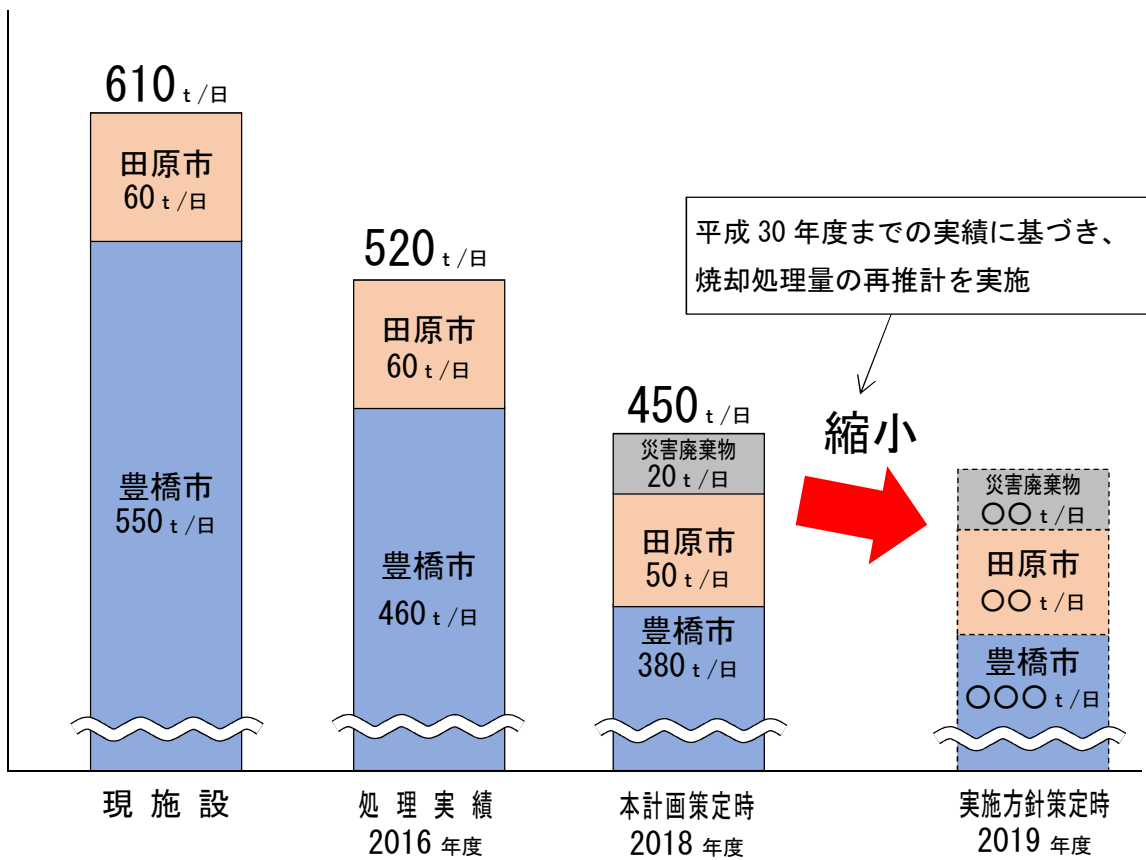
施設機能

● 施設規模（焼却処理施設）



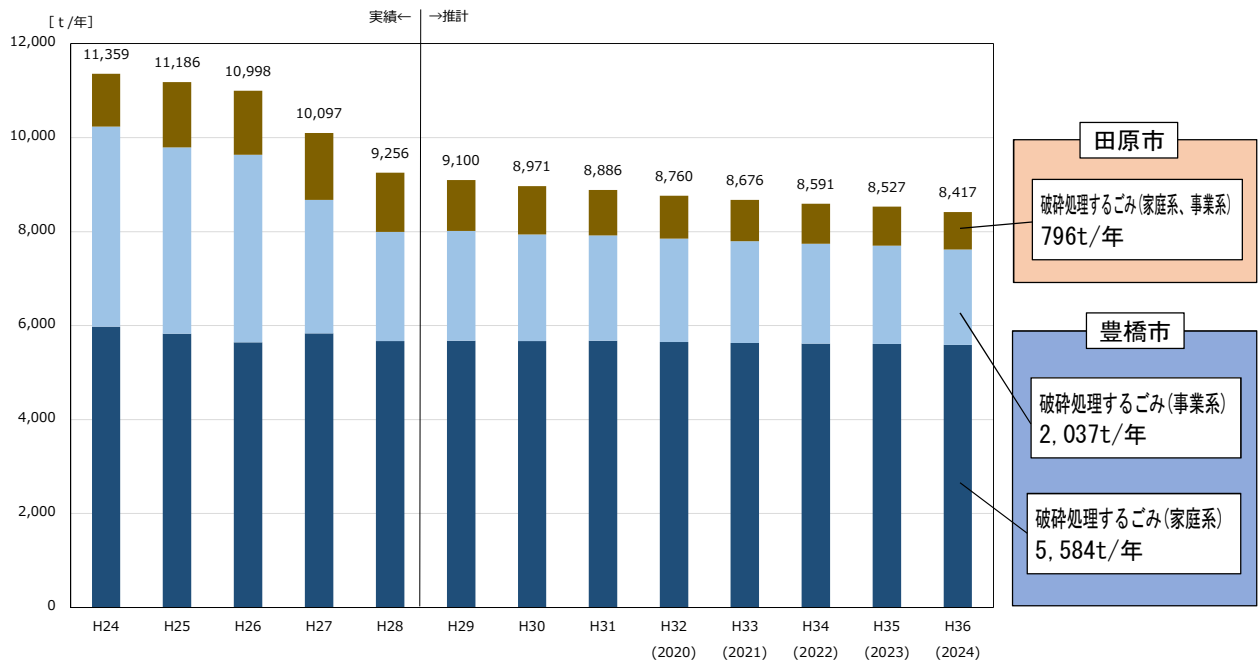
本計画策定時における焼却処理量の推計

施設規模



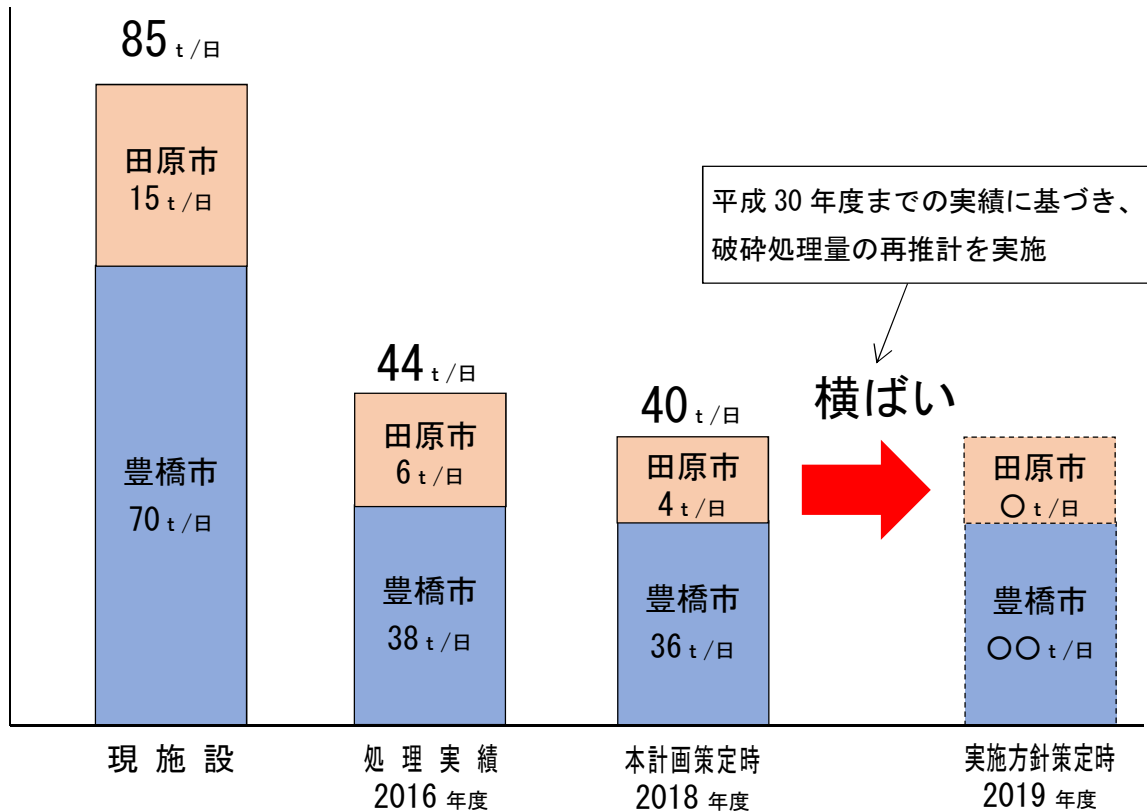
施設規模（焼却処理施設）

● 施設規模（粗大ごみ処理施設）



本計画策定時における破砕処理量の推計

施設規模



施設規模（粗大ごみ処理施設）

● ごみ処理方式

「焼却方式+灰資源化」、「ガス化溶融方式（一体型）」、「ガス化溶融方式（分離型）」から選定を行います。

● 焼却処理施設の炉数

効率的な運転管理の下で経費の抑制を図りつつ、安定稼働を確保するため、3炉構成とします。

● 残渣処理

ごみに混入する金属類の回収と焼却灰の資源化に取り組み、最終処分場への負荷低減を図ります。

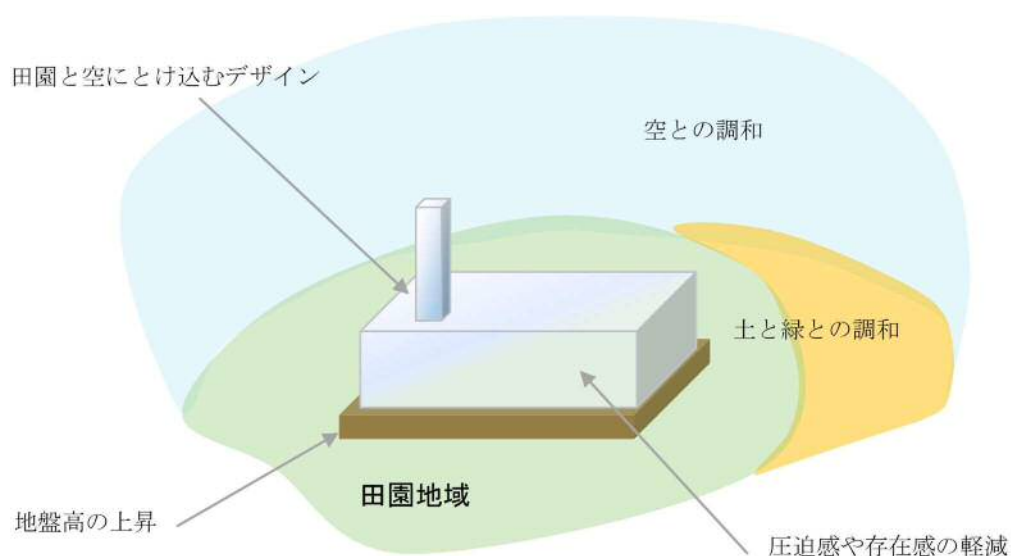
● 余熱利用

積極的に廃棄物発電を行うことで売電し、りすば豊橋への蒸気供給を継続します。

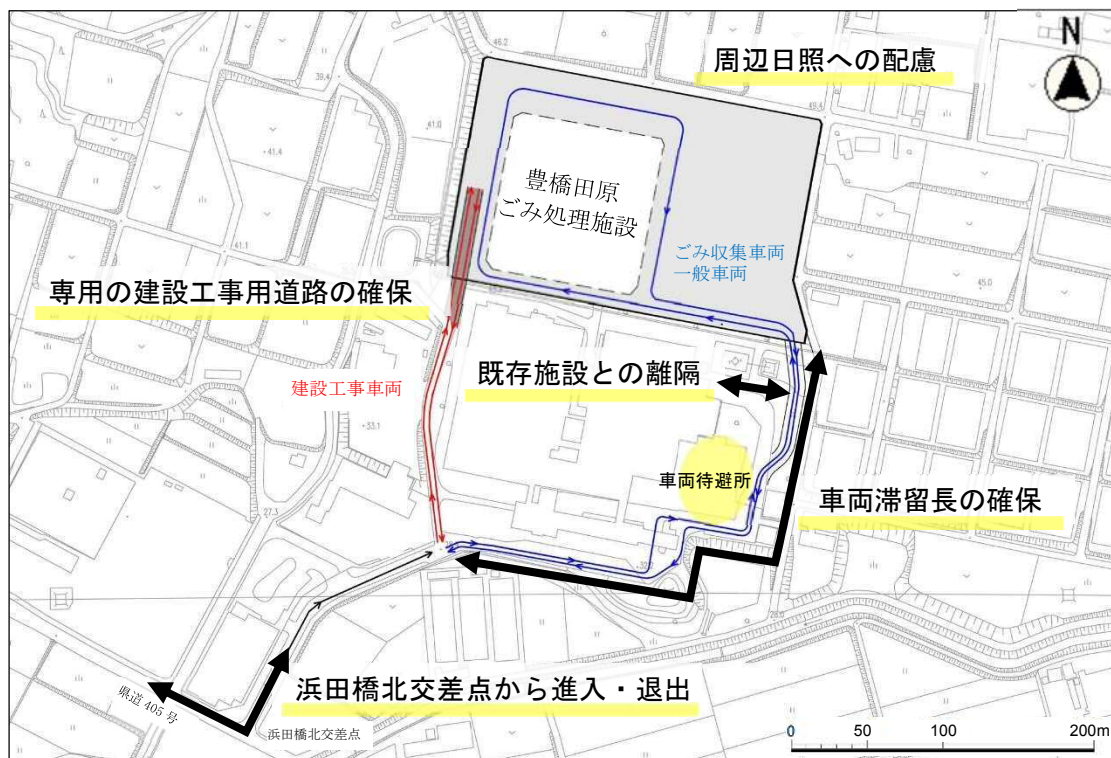
建 築 環 境

● 景 観 デ ザ イ ン

豊橋市景観形成ガイドラインに定める各指針等を踏まえ、田園地域になじむデザインにするとともに、地盤高の上昇、圧迫感や存在感の軽減及び施設周辺への日照に配慮した施設とします。



● 施設配置・車両動線



● 環境啓発

様々な見学者を対象として、3Rの理解を深める分かりやすい環境教育の場とします。また、施設の運転状況をいつでも見られる地域に開かれた施設とします。

● 防災機能

防災機能を備えることにより、建物等の強靱化を図り、災害時に施設を自立起動し継続してごみ処理ができる施設とします。

● 跡地利用

既存の豊橋市資源化センターの跡地利用については、廃棄物総合処理施設として都市計画の用途による規制を受けますが、周辺環境や地域性など立地を活かした有効な利用形態も十分考慮して検討します。

環 境 保 全

● 公害防止対策

排ガス、騒音、振動、悪臭及び水質について、法令に基づく規制基準値と同等又は規制基準値より厳しい自主基準値を設定し適切な設備を備え、運転・維持管理することによりその値を遵守します。

項 目		単 位	規制基準値	自主基準値 (豊橋田原ごみ処理施設)	自主基準値 (豊橋市資源化センター)
排出ガス	硫黄酸化物(SO _x)	ppm	1000(K 値 8.76)	20	25
	ばいじん	g/m ³ _N	0.04	0.01	0.02
	窒素酸化物(NO _x)	ppm	250	50	50
	塩化水素(HCl)	mg/m ³ _N (ppm)	700(430)	65(40)	65(40)
	ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ _N	0.1	0.01	0.01
	水銀	μg/m ³ _N	30	30	50
騒音	朝 (6時～8時)	dB	55	50	50
	昼 (8時～19時)	dB	60	55	55
	夕 (19時～22時)	dB	55	50	50
	夜 (22時～翌6時)	dB	50	45	45
振動	昼間(7時～20時)	dB	65	55	55
	夜間(20時～翌7時)	dB	60	55	55
悪臭	臭気指数	—	18	15	18

※排ガスは豊橋市資源化センター1・2号炉の自主基準値

項 目		単 位	規制基準値	上乘せ排水基準値 (豊橋田原ごみ処理施設)	上乘せ排水基準値 (豊橋市資源化センター)
水質	生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	160 (日間平均 120)	25 (日間平均 20)	40 (日間平均 30)
	浮遊物質(SS)	mg/L	200 (日間平均 150)	30 (日間平均 20)	80 (日間平均 60)
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類)	mg/L	5	2	—
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類)	mg/L	30	10	—
	フェノール類含有量	mg/L	5	0.5	—
	銅含有量	mg/L	3	1	—

● 温暖化対策

発電効率の向上及び省エネルギーの促進により大幅なCO₂排出量の削減を目指します。

運 営 計 画

● 事 業 方 式

事業方式は、公設民営方式（DBO方式）で進めるものとします。ただし、一般廃棄物は今後も継続して公共が処理する責任があることから、ごみ処理施設の運転・維持管理のノウハウや技術力を継承することができる運営体制を検討していきます。

● 事業者選定方式

事業者選定方式は、技術と価格の競争性が高く、総合的に事業者を選定することができる総合評価落札方式とします。

● 概算事業費

今後の建設単価の動向に注視するとともに、循環型社会形成推進交付金や起債を最大限に活用して一般財源の抑制に努めていきます。また、積極的な廃棄物発電や効率的な運営体制により、運営費の抑制にも努めていきます。

● スケジュール

項目 \ 年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	～
広域化計画	■												
用地交渉・取得	■	■	■	■	■	■	■	■					
環境アセスメント		■	■	■	■	■	■	■					
都市計画		■	■	■	■	■	■	■					
ごみ処理施設整備計画					■	■							
事業者選定							■	■	■				
建設工事									■	■	■	■	
施設稼働													■

豊橋田原ごみ処理施設整備計画概要版（案）

平成30年11月

	豊橋市環境部施設建設室	田原市市民環境部廃棄物対策課
編集・発行	〒441-3125 愛知県豊橋市豊栄町字西530番地 (豊橋市資源化センター内)	〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30番地1
	TEL : (0532) 38-0777	TEL : (0531) 23-3538
	FAX : (0532) 46-7942	FAX : (0531) 23-1832
	URL : http://www.city.toyohashi.lg.jp	URL : http://www.city.tahara.aichi.jp